

令和3年度 阿久比町教育委員会
事務点検・評価報告書
(令和2年度実施事務事業)



令和3年9月
阿久比町教育委員会

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項の規定により、各教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成して議会に提出・公表することが求められています。

この目的は、教育委員会が点検・評価を行い、その結果を公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくというものです。

また、この点検・評価に当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。

本報告書は、令和2年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、学識経験者の意見を付してまとめたものです。

令和3年9月

阿久比町教育委員会

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抜粋)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目 次

| | | |
|-----|------------------------------|-------|
| I | 教育委員会の活動状況 | |
| 1 | 教育委員会の構成 | 4 |
| 2 | 新教育委員会制度への移行 | 5 |
| 3 | 総合教育会議の開催状況 | 5 |
| 4 | 教育委員会の開催状況 | 5 |
| 5 | 教育委員会後援名義使用の状況 | 5 |
| 6 | 学校訪問の開催状況 | 6 |
| 7 | 教育委員会委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加） | 6 |
| II | 教育委員会施策の自己点検・評価 | |
| | ○学校教育関係 | |
| 1 | 幼保小中一貫教育の推進 | 8-9 |
| 2 | 学校施設及び設備の整備・改修等の推進 | 10-12 |
| 3 | 特別支援教育の充実 | 13-14 |
| 4 | 安全安心な学校給食センター運営 | 15 |
| | ○社会教育関係 | |
| 5 | 家庭教育推進事業(書初め大会)・成人式式典事業の実施 | 16-18 |
| 6 | 文化・芸術活動育成の支援 | 19-21 |
| 7 | 魅力ある図書館づくりの推進 | 22-24 |
| 8 | スポーツ施設及び設備の整備等の推進 | 25-27 |
| III | 学識経験者の意見 教育委員会事務評価委員会報告書 | |
| | 評価結果 | 29-32 |

I 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

令和2年4月1日～令和2年9月30日

| 役職 | 委員名 | 任期 | 備考 |
|--------------|--------|---|----|
| 教育長 | 田中 清高 | R2. 4. 1～R5. 3. 31 | |
| 教育長 職務代理者 | 松下 智子 | H24. 10. 1～H28. 9. 30 H28. 10. 1～R2. 9. 30 | |
| 教育委員 | 稲葉 清仁 | H29. 10. 1～R3. 9. 30 | |
| 教育委員 | 竹内 賢司 | H30. 10. 1～R4. 9. 30 | |
| 教育委員 | 竹内 比名子 | R1. 10. 1～R5. 9. 30 | |

令和2年10月1日～令和3年3月31日

| 役職 | 委員名 | 任期 | 備考 |
|--------------|--------|----------------------|----|
| 教育長 | 田中 清高 | R2. 4. 1～R5. 3. 31 | |
| 教育長 職務代理者 | 稲葉 清仁 | H29. 10. 1～R3. 9. 30 | |
| 教育委員 | 竹内 賢司 | H30. 10. 1～R4. 9. 30 | |
| 教育委員 | 竹内比名子 | R1. 10. 1～R5. 9. 30 | |
| 教育委員 | 中條屋由香里 | R2. 10. 1～R6. 9. 30 | |

2 新教育委員会制度への移行

平成 27 年 4 月 1 日施行の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律により、これまでの教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」を設置する、新教育委員会制度に移行することが決まった。施行日において在職中の教育長の任期が満了するまでは従来の制度が存続するため、阿久比町では平成 29 年 4 月 1 日をもって新制度に移行した。

新制度移行により、従来の教育委員長及び教育委員長職務代理者は廃止され、新「教育長」及び教育長職務代理者が新たに設置された。なお、教育長の任期は 4 年から 3 年に変更となった。

3 総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、平成 27 年度に町長と教育委員会で構成する「総合教育会議」が設置された。令和 2 年度は令和 3 年 1 月 13 日（水）に阿久比町役場会議室 101 で開催し、下記の議題について検討した。

議 題 「阿久比町立小中学校児童生徒の推移について」
「新型コロナウイルス対応について」

4 教育委員会会議の開催状況

下記のとおり定例及び臨時教育委員会会議を開催し、議案 37 件の審議を行った。

- ・定例会 12回
- ・臨時会 3回

5 教育委員会後援名義使用の状況

過去に承認済で、かつ継続して後援名義使用の事業については、事務局による書類審査にて、また新規申請事業については教育委員会会議において申請者に説明を求め、質疑応答、審議し可否を決定した。

申請数 24件
許 可 18件 不許可 6件

6 学校訪問の実施状況

知多教育事務協議会主催の学校訪問は中止となったが学校参観という形で、教育委員や教育長、教育委員会の職員が学校へ出向き、授業等を視察した。その後学校・園幹部と、授業の改善、家庭における生活習慣の形成、いじめ・不登校への対応、特別な支援を要する園児・児童・生徒への対応、学校の安全体制の整備、部活動などについて、より良い学校・園運営のための意見交換を行った。

| 開催日 | 学校名 | 備考 |
|-----------|--------|----|
| 6月16日(火) | 東部小学校 | |
| 6月26日(金) | 南部小学校 | |
| 6月23日(火) | 阿久比中学校 | |
| 9月11日(金) | ほくぶ幼稚園 | |
| 9月30日(水) | 草木小学校 | |
| 10月23日(金) | 英比小学校 | |

7 教育委員のその他の主な活動（会議・行事等への参加）

- ・各小中学校入学式及び卒業式、幼稚園入園式及び卒園式
- ・教職員辞令伝達式
- ・愛知県市町村教育委員会連合会定期総会
- ・知多地方教育事務協議会
- ・知多地方教育委員研修会
- ・阿久比町教育支援委員会
- ・小中学生海外派遣事業実施委員会
- ・小学生海外派遣事業及び中学校海外家庭生活体験事業報告会【中止】
- ・現職教育発表会【中止】
- ・いじめ等問題対策連絡協議会
- ・成人式
- ・青少年健全育成大会【中止】
- ・生涯学習フェスティバル【中止】
- ・文協まつり【中止】
- ・人権教育後援会
- ・書き初め大会
- ・凧あげ大会【中止】 など

Ⅱ 教育委員会施策の自己点検・評価

| | |
|-----|---------------|
| 施策名 | 1 幼保小中一貫教育の推進 |
|-----|---------------|

(担当：学校教育課 学校教育係)

【施策の概要】

○中学校3年生における「めざす生徒像」を定め、阿久比町の子どもたちに生きる力を身につけさせ義務教育を修了できるよう取り組んでいる。幼保小中の職員(保育士・教員)、そして保護者や地域や行政職員を加えプロジェクトを組織し、「欠落なき教育」「落差なき教育」「段差なき教育」の実現に取り組んでいる。令和2年度は、第5期の4年目として、整理・統合した従来の取り組みと共に、第5期で新設した特別支援教育部の活動を推進するとともに、事務局からのプロジェクトだよりの発行や新転入者研修会を通じて、阿久比町幼保小中一貫教育プロジェクトのさらなる浸透を図る。

【令和2年度の取組状況】

○4部会の取組

＜幼保小接続部＞

幼保教員・保育士の小学校研修、小中学校教員の幼稚園研修など、幼稚園・保育園と小学校の接続に焦点を当てた取組を継続して行った。例年5月に行っている小学校体験研修(前年度に幼稚園・保育園の年長クラスを担当した先生方が行う)は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けての臨時休業期間があったため、令和2年度は情報交換のみを行った。小中学校教員の園研修も、例年は町内新転入者を対象に行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は町内初任者のみが行った。平成30年度から全面実施となった幼稚園教育要領の改訂にともない、平成29年度より改訂した「幼保統一カリキュラム」や小学校1年の「スタートカリキュラム」に基づき、該当学年において各カリキュラムの実践を行った。



【初任者の園研修の様子】

＜小中接続部＞

小学校と中学校の接続に焦点を当てた取組を継続して行う計画を立てていた。「阿久比サマースクール」や「冬休み部活動体験」を実施し、小学6年生の児童が中学校を訪れる機会を昨年度同様に継続して確保する予定だった。しかし、新型コロナウイルス感染症対策のため、小中学校においては、授業時間確保のため夏季休業期間が短縮されたことや、部活動においても活動の制限があったため、計画されていた取組は中止とせざるを得なかった。また、2学期に計画されていた「中学校の先輩の話を聞く会」では中学3年生代表が母校を訪れ、小学6年生児童に中学校生活について話をしたり質問に答えたりする予定だったが、これも新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となった。

＜啓発連携部＞

啓発連携部では、従来から取り組んでいるノーメディアデーや学びウィーク、親子ふれあいキャンペーン、幼保小中高一貫あいさつ運動を計画していた。また、地域の方を講師として迎えて行う「土曜学習」や学校支援ボランティアなど、地域の教育力

の取組を計画した。「土曜学習」は、各小学校区で、地域の特色を生かしながら取り組む予定だった。多くの計画が、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、中止となるなか、「ノーメディアデー」や「学びウィーク」など、新型コロナウイルス感染症の影響を受けない取組は継続して行うことができた。1学期に行った「学びウィーク」は、例年6月に行っているが、中学校の期末テストの日が臨時休業期間の関係で変更したことに伴い、7月に行った。「学びウィーク」は中学校の期末テスト週間に小学生も勉強をする取組だが、「学びウィーク」を通して、子どもだけではなく保護者の家庭学習への意識も高めることが大切な目標の一つとなっている。

<特別支援教育部>

特別な支援を必要とする園児・児童生徒に切れ目のない支援を提供できるよう、平成29年度の第5期より特別支援教育部を設置した。主な活動内容は、特別支援教育指導員を幼稚園・保育園・小中学校に派遣し、園児・児童生徒の見取りと支援について教職員への指導をすることである。教職員への研修として発達障害や合理的配慮に関する研修会を各学校においても実施した。また、それぞれの園・校で実施している合理的配慮の充実を図るとともに、各園・校で行っている合理的配慮の内容を紹介し合う取組を継続して行うことができた。令和元年度より、幼保小情報交換会を5月に実施することで、園から校への進学に向けて特別な支援を必要とする児童生徒に切れ目のない支援を継続できるようにしているが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から「気になる子」の情報交換を紙面にて行った。報告様式を町教委と特別支援教育部と同じものを使うようにすることで、業務量の削減と、より正確に情報交換を行うことができるようになった。

【自己評価・今後の課題】

- ◇新型コロナウイルス感染症の拡大により、予期せぬ臨時休業や夏季休業期間の短縮などがあり、計画をしていた取組も多くが中心せざるを得ない事態となってしまった。幼保小中一貫教育での連携は、直接互いに関わり合いながら連携を深めていく計画が多いが、今後は、新型コロナ感染症対策を講じた上で活動を進めていかなければならない。各小中学校において、GIGAスクール構想による一人一端末、高速通信環境での学習への転換も徐々に進んできている。令和3年度は、ICTを用いた活動も計画し、コロナ禍でも互いの連携が深められるようにしていきたい。
- ◇中止となる計画が多い中、第5期の取組として従来の取組を整理し、新たな取組として始まった「特別支援教育部」の取組は、さらに充実させることができた。学習指導要領が改訂され、様々な変革が行われる中、「不易流行」の理念をもち、従来からの取組も大切にしながら、新たな課題に対しても園・校全体で取り組むことができたことは、評価できる点である。
- ◇15年間取り組んだ幼保小中一貫教育により、園・校の教職員の結びつきや共通理解による取組等の財産は引き継ぎ、今日的な課題に対応する組織はできあがっている。しかし、教職員の異動もある中、今後も新転任者研修会やプロジェクトだよりなど様々な機会を捉え、教職員一人一人の一貫教育に対する意識を高めると共に、保護者・地域の教育力を高め、園・校の教育へ参画する手立てを講じていく必要がある。

| | |
|-----|----------------------|
| 施策名 | 2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進 |
|-----|----------------------|

(担当：学校教育課 庶務係)

【施策の概要】

- 町内の4小学校1中学校の校舎及び施設は、築後40年から50年経過しているものが多数あり老朽化による問題が多発している。子どもたちの安全を第一に考え必要な整備や改修工事、修繕等を順次行っている。東部小学校の児童増加についても様々な整備も順次行っている。
- 子どもたちが授業を受けるための安全で快適な教育環境を整備するため、必要な設備や備品等の導入を進めている。

【令和2年度 of 取組状況】

○校舎等改修工事 (主なもの)

小学校校内通信ネットワーク整備工事 31,790,000 円

※ 小学校普通教室の通信ネットワーク整備のため実施

東部小学校北校舎渡り廊下外壁改修工事 16,736,500 円

※ 北校舎、渡り廊下外壁改修のため実施

小学校電源キャビネット設置工事 18,607,710 円

※ タブレットを格納するキャビネット設置のため実施

飲用水水飲み場設置工事 2,530,000 円

※ 校舎内に直圧蛇口設置のため実施

東部小学校駐車場整備工事 390,500 円

※ 教職員用の駐車場を整備のため実施。

英比小学校外壁改修工事 1,289,200 円

※ 南西校舎の外壁を改修のため実施

英比小学校特別支援教室空調設置工事 4,378,000 円

※ クラス増等による教室に空調設置のため実施

南部小学校体育館放送設備改修工事 913,000 円

※ 体育館放送設備の改修のため実施

南部小学校屋内運動場屋根防水工事 904,200 円

※ 体育館屋根雨漏りのため実施

小学校校内通信ネットワーク整備工事 1,012,000 円

※ クラス増や教室配置換えによる通信ネットワーク整備のため実施

阿久比中学校校内通信ネットワーク工事 10,197,000 円

※ 中学校普通教室の通信ネットワーク整備のため実施

阿久比中学校南校舎トイレ改修工事 27,720,000 円

※ 中学校南校舎西側トイレを乾式化・洋式化のため実施

阿久比中学校電源キャビネット設置工事 5,944,290 円

※ タブレットを格納するキャビネット設置のため実施

阿久比中学校校内通信ネットワーク整備工事 671,000 円

※ クラス増や教室配置換えによる通信ネットワーク整備のため実施

○トイレ改修工事

阿久比中学校南校舎トイレ改修工事 27,720,000 円

※順次進めているトイレの乾式化及び洋式化を実施（国庫補助事業）



○電源キャビネット設置工事 24,552,000 円

タブレットを格納し充電するキャビネット。クラスに1台整備をして渡り廊下などに設置をしている。（GIGAスクール構想・国補助事業）



【自己評価・今後の課題】

- ◇老朽化により、校舎等の改修を必要とする箇所が増え、また費用面でも大きなものが増えてきている。財政的に厳しい状況だが、校舎の老朽化により爆裂など外壁破損が見られるので児童の安全のため防水工事を含め早めに工事する必要がある。また、20年後には建築後80年を順次経過するため中長期にわたり建築計画を立てる必要がある。
- ◇トイレ改修工事はほぼ毎年国の補助事業に採択され、乾式化・洋式化工事が進んでおり小学校校舎の工事は完了した。令和2年度は阿久比中学校南校舎西側トイレ改修を実施することができた。特別支援教室から近いトイレを乾式化洋式化し利便性が向上した。まだ改修できていない中学校南校舎東側と各小中学校体育館トイレ改修工事を確実に進めていく必要がある。
- ◇学校における空調設備については、近隣市町に先駆けて普通教室への設置を完了した。しかし特別教室などはまだこれからである。今後も優先順位の高い箇所から順次設置し、普通教室以外もより快適な環境の整備に努めたい。
- ◇GIGAスクール構想によるネットワーク整備工事や充電キャビネット設置工事、児童生徒全員へのタブレット整備は無事に完了した。今後はタブレットを使ったICT教育が大きな役割を果たしていくと思う。ネットワーク整備は普通教室だけなので特別教室にも整備を進めていかなければならない。
- ◇子どもたちの安全で快適な教育環境の確保のため、教育委員会としても学校現場に足を運ぶことで、問題箇所の早期発見に努め、また、他市町の先進事例を常に学び教育環境の充実を図る必要がある。

各校トイレ改修状況

(○ 改修済 × 未改修)

| 東部小 | | | 英比小 | | | 草木小 | | 南部小 | | 阿中 | |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 北校舎 | 南校舎 | 新校舎 | 北校舎 | 南校舎 | 新校舎 | 北校舎 | 南校舎 | 北校舎 | 南校舎 | 北校舎 | 南校舎 |
| ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | △ |

各校空調設備導入状況

(○ 導入済 △ 一部導入)

| | 東部小 | 英比小 | 草木小 | 南部小 | 阿中 |
|--------------|-----|-----|-----|-----|----|
| 普通教室 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| その他 特別教室等 | △ | △ | △ | ○ | △ |

※その他特別教室等については、図書室、音楽室（阿中以外）、保健室、職員室等に設置しているが、理科室・図工室・家庭科室等には設置されていない。

| | |
|-----|-------------|
| 施策名 | 3 特別支援教育の充実 |
|-----|-------------|

(担当：学校教育課 学校教育係)

【施策の概要】

- 特別支援教育指導員が各学校を巡回し、保護者との面談や専門的立場から教員の支援・指導を行う。
- 学校支援員を配置し、特別支援学級在籍児童等の学習及び生活面での支援を行う。
- 障害者差別解消法に基づく合理的配慮の提供を行う。

【令和2年度の取組状況】

- 幼稚園・保育園から報告してもらっている特別な支援を必要とする児童について、学校教育課職員による巡回に加えて特別支援教育指導員による巡回を行い、専門的見地から見た意見を教育支援に生かしている。
- 子供の就学について悩む保護者に対して、積極的に特別支援教育指導員との面談を実施し、必要な情報を提供することで、保護者の不安解消と就学に関する助言を行った。
- 特別な支援を必要とする児童生徒が年々増加しており、学校支援員の増員を行った。

| 年度 | H 2 8 | H 2 9 | H 3 0 | R 1 | R 2 |
|--------------------------------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 特別支援学級在籍児童生徒数 (各年度4月1日現在・人) | 5 4 | 6 0 | 7 4 | 8 7 | 1 1 5 |
| 支援員数(人) | 1 2 | 1 7 | 1 9 | 2 2 | 2 7 |

- 特別支援学級に入級している児童が不安定になった際に、クールダウンする場所として、室内で安全に体育や体力トレーニングを行えるよう、ウレタン製のブロックセットを購入した。

【自己評価・今後の課題】

- 本町の特別支援教育において、特別支援教育指導員は幼稚園・保育園・小中学校職員への助言、保護者との面談や学校支援員への研修など、重要な役割を果たしている。また、子育て支援課所属の特別支援教育指導員との情報共有も定期的に行われており、幼保小中を通して児童生徒を支援できるのが強みである。近年増え続けている支援を要する児童生徒の数に、どう対応していくかを考える必要がある。
- 特別支援学級への入級を考えていた保護者が、学校を見学した結果、教育の内容に満足できず、通常学級を選択するケースが数件見受けられた。保護者の特別支援学級に求める水準が高まっているのではないかと捉えている。特別支援学級に入って完結ではなく、個々の特性に合わせて魅力的な教育を行うことができるよう、特別支援教育

の質を上げていくのが課題である。

| | |
|-----|-------------------|
| 施策名 | 4 安全安心な学校給食センター運営 |
|-----|-------------------|

(担当：学校教育課 給食係)

【施策の概要】

○令和2年8月24日に供用開始した新学校給食センター「AGUMOGU」において、安全安心で児童、生徒、保護者から喜ばれるおいしい給食を提供する。また、学校生活を快適に過ごせるよう、安全性を最優先し「食物アレルギー」対応を進めていく。

【令和2年度の取組状況】

- 「阿久比町立新学校給食センター建設工事」（継続費）
（工期：令和元年6月25日から令和2年7月31日まで）
契約金額 1,887,563,700円（変更後）
契約の相手方 鴻池・岡戸特定建設工事共同企業体
- 新学校給食センターにおいて、調理・洗浄・給食配送及び回収についての民間委託、厨房備品（機器等）購入など供用開始の準備を行った。
- アレルギー調査票について、全児童生徒に提出を求め対応開始前の準備を行った。

【自己評価・今後の課題】

- ◇新学校給食センターの建設については、平成29年6月新センター建設検討委員会発足以来、厳しいスケジュールの中で、予定どおり令和2年7月に完成することができた。
- ◇令和2年度においては、新センターの建設はもとより、調理・洗浄・給食配送及び回収についての民間委託、厨房備品購入などを滞りなく行い、8月24日に供用開始することができた。
- ◇今後は、令和3年9月から開始するアレルギー対応除去食の提供に際し、保護者との面談の中で相互理解を深め、実施可能な範囲を決定していく。



新学校給食センター【AGUMOGU(あぐもぐ)】

| | |
|-----|------------------------------|
| 施策名 | 5 家庭教育推進事業(書初め大会)・成人式式典事業の実施 |
|-----|------------------------------|

(担当：社会教育課 社会教育係)

【施策の概要】

- 家庭教育推進事業として、町全域での活動では、「親子ビーチボールバレー大会」、「野外音楽会」、「心のうた（家族川柳）作品募集」、「書初め大会」、「凧あげ大会」などを開催し、親子や地域の人々とのふれあいを深めるとともに、青少年の豊かな心情を養うことを目的として実施している。(令和2年度は、「心のうた作品募集」、「書初め大会」以外新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
- 成人式は、その年度内に20歳を迎えられる方々に、新成人として、社会的な責任を持ち、大人社会へ仲間入りすることを自覚し、また、社会は新成人を祝福し、成人としての立場を確認する節目として行っている。

【令和2年度の取組状況】

書初め大会

- 令和2年度において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまな事業が中止を余儀なくされた状況下で、書初め大会は「第6回阿久比町菅原道真公書初め大会」として実施した。

| | |
|-------------------|----------------------|
| 第6回阿久比町菅原道真公書初め大会 | |
| 期 日 | 令和3年1月5日(火) |
| 場 所 | アグピアホール(中央公民館多目的ホール) |
| 参加者 | 120名 |

(人)

| 年度 | 学年等 | | | | | | | | |
|-------|----------|----|----|----|----|----|-----|----|-----|
| | 幼児 小1 | 小2 | 小3 | 小4 | 小5 | 小6 | 中学生 | 一般 | 合計 |
| 令和2年度 | 24 | 11 | 15 | 19 | 15 | 13 | 11 | 12 | 120 |

- 大会会場での一人ずつのスペースでは、ソーシャルディスタンスを考え、前後、両隣の距離を確保し、マスクの着用、手指消毒、検温等の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行った。
- 会場スペースの使用可能範囲においては、例年通りの定員(160名)で使用可能であったが、入退場についての細かい指示、付き添いの保護者は一人とするなど、接触を最小限にし、実施した。



令和3年大会の様子



令和2年大会の様子

成人式

○令和2年度において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、さまざまな事業が中止を余儀なくされた状況下で、成人式と、新成人の集いは実施した。

| | |
|-----|---------------------------------|
| 成人式 | |
| 期 日 | 令和3年1月10日(日) |
| 場 所 | アグピアホール(中央公民館多目的ホール) |
| 参加者 | 234人 (対象：平成12年4月2日生～平成13年4月1日生) |
| 第1部 | 113人 (東部・南部学区 男性47人 女性66人) |
| 第2部 | 121人 (英比・草木学区 男性58人 女性63人) |

○例年は、2部制にすることなく一斉に式典、その後の新成人の集いを同じ会場にて実施していたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一斉に開催することは収容人数の制限においてできず、実施可能にするため、町全体を4小学校区の2学区ごとの2部制とした。式典においては、参加者にはマスク着用を必須とし、手指の消毒、受付での検温を行い、事務局としては、来賓の人数を減らし、可能な限り時間短縮とし、接近を避けた距離を取る椅子の配置、動線の確保、後に感染者が発生した際の対応のための参加者の把握、椅子などのこまめな消毒を行った。コロナ禍であったが、一生に一度の成人式を挙げるため、安全・安心に配慮し、無事に言うことができた。



令和3年式典の様子



令和2年式典の様子

【自己評価・今後の課題】

書初め大会

- 大会会場での新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行い開催することができた。
- 今後の課題として、会場スペースは、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策における人数制限を設けなくても、募集定員で使用可能であったが、定員には満たない状況であり、「菅原道真公」という名もある大会であるので、応募人数を増やすため、啓発が必要である。

成人式

- 令和2年度も成人式を実施することが必須であると考え、参加者にとって、成人式、新成人の集いをどのような対策を施せば実施できるのかを近隣市町も参考に検討を重ねた。知多地域では、南知多町以外は2部制での実施であり、令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の状況を考えながら2部制を含めて検討していかなければならないと考える。現在、令和3年度2部制とすることを半田市、大府市、東海市、東浦町が表明している。
- 今後の課題として、会場においては、成人式開催直前に、使用中止となるような状況になったとしても、代替会場を確保し、極力成人式を延期または中止にすることなく、不測の事態にも対処できるようにしなければならない。

事業の内容については、新成人の集いの中で、例年は、恩師の先生にご出席いただいているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止として、会場内の人数制限もあり、令和2年度においてはビデオレターのみであった。中学校卒業以来、参加者と恩師の先生方が久しぶりに会える機会であるため、今後は可能な限り出席いただけるように検討する。更に、同級生とも一堂に会することができ、改めて貴重な思い出づくりの場にもなるため、開催が確実にできるように努めなければならないと考える。



恩師ビデオレターの上映



集合写真の撮影

| | |
|-----|----------------|
| 施策名 | 6 文化・芸術活動育成の支援 |
|-----|----------------|

(担当：社会教育課 公民館係)

【施策の概要】

○地域に根ざした文化の継承と特色のある文化の創造に向け、住民主体の芸術・文化活動を促進していく。施設の整備や活動発表の場を充実させるとともに、文化活動団体等との連携を推進する。

【令和2年度の取組状況】

○新型コロナウイルス感染拡大防止のための、中央公民館の休館、貸館時間短縮、利用制限等により、生きがい教室・講座は23講座中、13講座が中止になった。

| 対象 | 番号 | 講座・教室名 | 回数 | 募集定員 (人) | 受講者数 (人) | 延受講者数 (人) |
|----|----|------------------------|----|-------------|-------------|--------------|
| 一般 | 1 | 子どものためのジャズダンス講座(年少～小2) | 8 | 30 | 15 | 68 |
| | 2 | パソコン教室/ワードの基礎 | 9 | 10 | 7 | 60 |
| | 3 | パソコン教室/エクセルの基礎 | 7 | 10 | 9 | 63 |
| | 4 | パソコン教室/年賀状を作ろう | 2 | 10 | 9 | 17 |
| | 5 | 秋の手作りお菓子講座 | 1 | 12 | 10 | 10 |
| | 6 | 美術講座/現代アートの見方 | 1 | 13 | 8 | 8 |
| | 7 | 陶芸教室 | 2 | 10 | 12 | 21 |
| | 8 | 狂俳教室 | 4 | 15 | 15 | 39 |
| | 9 | 川柳講座/川柳に楽しみ保つ若い脳 | 7 | 20 | 20 | 91 |
| | 10 | 機織体験教室 | 随時 | - | 13 | 13 |

○生活と文化芸術を結んでいる活動団体と連携して、生きがい教室・講座を10講座、延べ41回実施した。延受講者数は、390人であった。

○生きがい教室・講座を修了した受講生を対象に、自主活動グループとしての新たな団体設立への働きかけを実施し、現在文化協会に加入している団体数は、53団体で前年度より4団体増えた。なお、サークル協議会団体数は40団体で前年度より1団体増えた。

○人生100年時代に向け、健康で心の豊かさや生きがいを活性化する場を提供し、講座の啓発に努めた。

○学習したい方や自分の得意なことを活かして教えた方が、自ら企画するマイスタディ

講座・マイプロデュース講座として6講座を延べ36回実施した。延受講者数は、446人であった。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため2講座が中止となった。

| 対象 | 番号 | 名 称 | 回数 | 募集定員 | 受講者数 | 延受講者数 |
|----|----|---------------|----|------|------|-------|
| 一般 | 1 | レッツ！ハワイアンキルト | 7 | 10人 | 11人 | 74人 |
| | 2 | 旬のおいしい野菜づくり講座 | 9 | 15人 | 16人 | 134人 |
| | 3 | ゆっくり話そう！中国語会話 | 5 | 15人 | 13人 | 52人 |
| | 4 | 写真撮ろうよ。講座 | 3 | 10人 | 7人 | 20人 |
| | 5 | リラックスヨガ | 6 | 20人 | 24人 | 88人 |
| | 6 | たのしい切り絵教室 | 6 | 10人 | 17人 | 78人 |



写真、撮ろうよ。講座



リラックスヨガ

【自己評価・今後の課題】

◇新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言発出中は講座・教室が開催できないため、前年度と比較すると大幅に回数や受講者数が減少した。また、調理実習室を使う教室は調理のみで料理等は持ち帰りとなるため、企画するにも制限事項が多く困難な1年だった。今後も引き続き感染対策を万全にして、安全安心な公民館行事を熟慮し実現しなければならない。

◇中央公民館の新型コロナウイルス感染予防対策は以下のとおり（令和3年6月1日現在）

- ・体温37.5度以上若しくは体調不良の者の入館不可（体温が不明な場合は検温する）
- ・マスクの着用と手指消毒の徹底
- ・貸館利用者名簿の提出（各利用団体が管理する場合は提出不要）
- ・人と人の間隔は最低1mを確保
- ・利用者による使用後の机、椅子、ドアノブ等の消毒
- ・人と人との接触する行為の禁止（ダンス、武道等）
- ・30分に一度、5分の換気

- ・館内では水分補給以外の飲食は禁止
- ・ロビーでの長時間の滞在は禁止
- ・各室の定員は通常着席定員の1／2以下

| | |
|-----|-----------------|
| 施策名 | 7 魅力ある図書館づくりの推進 |
|-----|-----------------|

(担当：社会教育課 図書館係)

【施策の概要】

- 魅力ある図書館づくりを推進するために自発的な学習意欲に応えられるような蔵書や資料などの充実を図り、誰でも気軽に利用できる施設を目指す。
- 魅力ある図書館づくりのために、講座の開催、展示ホールを生涯学習グループの成果発表の場とするほか各種事業を開催する。

【令和2年度の取組状況】

新型コロナウイルス感染予防のため、令和2年3月2日から6月19日まで臨時休館した。行事や各種講座（文学講座、童話作法講座、読書指導講座、風土記講座、夏休みを行う子供向け講座等）、年間を通して土・日曜日に行う児童向けの読み聞かせ等の主なものは、以下のとおり。

○保育園・学校との連携

- ・4月に予定していた子ども読書の日の読み聞かせ行事は中止した。
- ・小中学校の学校図書館図書整理員と町立図書館の職員との意見交流会を南部小学校で開催（11月）し会議を通して各学校の図書館の特色を情報として得ることができ町立図書館を中心として連携の必要性が理解できた。
- ・小中学生の読書活動の機会づくりのために児童室内に「アグピー文庫」を設置している。また、児童室入口に設置した「ティーンズコーナー」は小中学生に留まらず、一般の利用者にも利用が拡大している。

○図書の有効利用

- ・図書リサイクル^{注1}フェア（11月12日から11月22日）を行い保育園、児童館、小学校、中学校等の公共施設に優先的に無償で譲渡した。また、一般の希望者へも無償で譲渡を行った。

○作品の展示

- ・4月から6月は臨時休館のため展示できなかったが、展示ホールを小中学校・高等学校はじめ各方面で活動しているサークルの方々に展示してもらい、多くの来館者に見ていただくことができた。また、展示内容についての問い合わせの言葉をいただき来館者の展示物への関心の高さを感じた。

○青空図書館（阿久比プレイガーデンプロジェクト事業）

- ・春（5月）は中止となったが、秋（9月19日20日）にふれあいの森に図書1,200冊を運び、ブックトラック5台に分けて並べ自由に閲覧してもらった。当日は、貸出も行い図書館活動のPRを行った。

○しおり作成事業

・図書を10冊貸出して申請書に貸出レシートを添付し、オリジナルのしおりを作成してもらった。(10月1日から10月30日)

○読書カード配布事業

・読んだ本について感想が記入できる読書カード(読書カード1つで30冊まで記入可能)を作成し配布した。(11月1日から11月30日)

【自己評価・今後の課題】

◇子どもの自主的な読書活動にとどまらず、一般の方々の読書活動を推進し、町民の生涯学習活動にも貢献できた。

◇図書館資料^{注2}については、新刊図書の購入と除籍をバランスよく行い、新しい情報を提供することができた。今後も利用者の要望に耳を傾け新しい情報提供に心掛けることが大切である。

◇展示ホールは、学校関係をはじめ生涯学習サークル等の活動の成果発表の場として大いに利用され、町の文化活動発展に役立っているため今後も続けていきたい。

◇魅力ある図書館のために講座開催がある。開催にあたっては幅広い年代層が受講できる講座の実施に努め、町民の生涯学習活動にも貢献していきたい。

◇図書館利用者^{注3}については、約2カ月半臨時休館をしたため、前年度より来館者は減少した。感染症予防対策に努めながら、来館者の増大を図れるよう魅力ある図書館づくりを推進していきたい。

◇阿久比町立図書館の新型コロナウイルス感染症予防対策(令和2年7月15日以降)

- ・体温37.5度以上若しくは体調不良の者の入館不可(体温が不明な場合は検温する)
- ・マスクの着用と手指消毒の徹底
- ・入館者カードの記入
- ・人と人の間隔の確保
- ・利用者による使用後の机、椅子等の消毒
- ・換気の徹底
- ・返却本を消毒清掃後1日保管して書架へ排架
- ・一般閲覧室、児童室、参考郷土資料室、学習室等座席数の削減
- ・感染症対策備品として書籍消毒(除菌)機1台の購入
- ・机の仕切り板購入 学習室30ヶ、一般閲覧室10ヶ

(注1) 図書リサイクルの内訳

令和2年度(単位:冊)

| 資料提供数 | 学 校 | 保育園等 | 個 人 | 計 | リサイクル率 | 残 数 |
|-------|-----|------|-------|-------|--------|-----|
| 4,051 | 230 | 234 | 3,124 | 3,588 | 88.6% | 463 |

(注2) 図書館資料 蔵書増減数

令和元年度(単位:冊)

| | R 1 蔵書数 | 購入 | 寄贈等 | 除籍 | 計 |
|-------|---------|-------|-----|-------|---------|
| 図書資料 | 108,662 | 3,715 | 120 | 2,358 | 110,139 |
| 視聴覚資料 | 7,451 | 161 | 9 | 17 | 7,604 |

(注3) 図書館利用者

| 年 度 | 入館者数 | 貸出冊数 | 貸出人数 |
|-----|----------|-----------|----------|
| R 1 | 89,390 人 | 189,377 冊 | 38,826 人 |
| R 2 | 59,520 人 | 141,446 冊 | 27,976 人 |

青空図書館



リサイクルフェア



| | |
|-----|---------------------|
| 施策名 | 8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進 |
|-----|---------------------|

(担当：社会教育課 体育係)

【施策の概要】

- 阿久比スポーツ村、町内各グラウンド、丸山武道場、白沢区民館、ふれあいの森などのスポーツ施設の整備に努め、全ての町民が安全にスポーツに親しめる環境整備を推進し、利用促進を積極的に図る。

【令和2年度の取組状況】

- 阿久比スポーツ村野球場においては、高校野球地区予選会場、社会人野球チームの練習場、町民体育祭における軟式野球大会、少年野球大会として利用があるため、グラウンド整備工事を行った。また、スポーツ振興くじ助成金を活用して、野球場トイレ新設工事とトレーニング室にトレッドミル2台の購入を行った。
- ふれあいの森パターゴルフ場においては、5番ホールグリーンの改修工事を行った。また、屋内バーベキュー場の網戸設置工事を行った。
- グラウンドについては、板山グラウンドのネットフェンス損傷部分の取替、修繕を行った。また、草木グラウンドの1塁側フェンスの塗装修繕を行った。
- 町多目的広場において、多目的広場整備工事を行った。

スポーツ村利用状況

| 施設名 | 項目 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|-----------|----|--------|--------|
| 陸上競技場（団体） | 件数 | 323 | 272 |
| | 人数 | 20,703 | 14,571 |
| 陸上競技場（個人） | 人数 | 1,627 | 1,642 |
| 野球場 | 件数 | 242 | 187 |
| | 人数 | 16,955 | 12,701 |
| 室内練習場 | 件数 | 172 | 160 |
| | 人数 | 8,738 | 5,861 |
| トレーニング室 | 人数 | 9,510 | 1,301 |

ふれあいの森利用状況

| 施設名 | 項目 | 令和元年度 | 令和2年度 |
|--------|----|--------|--------|
| パターゴルフ | 人数 | 1,460 | 1,543 |
| デイキャンプ | 件数 | 122 | 45 |
| | 人数 | 1,978 | 493 |
| 体育室 | 件数 | 990 | 782 |
| | 人数 | 13,805 | 11,409 |
| 入園者数 | 人数 | 49,386 | 51,247 |

グラウンド利用状況

| 施設名 | 項目 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
|---------|--------|--------|--------|-------|
| 白沢 | グラウンド | 件数 | 296 | 237 |
| | | 人数 | 14,958 | 9,127 |
| | テニスコート | 件数 | 1,435 | 1,072 |
| | | 人数 | 11,382 | 7,347 |
| | 多目的広場 | 件数 | 0 | 0 |
| | | 人数 | 0 | 0 |
| 板山グラウンド | 件数 | 200 | 161 | |
| | 人数 | 13,279 | 10,189 | |
| 草木グラウンド | 件数 | 304 | 256 | |
| | 人数 | 13,249 | 6,463 | |

※参考（建設環境課都市計画係より）

| 施設名 | 項目 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
|------|--------|-------|-------|-------|
| 丸山公園 | 運動広場 | 件数 | 364 | 278 |
| | テニスコート | 件数 | 2,062 | 1,635 |

※丸山公園は昼間・夜間（照明）と区分があるが、他のグラウンドと比較するため、昼間のみの件数とする。人数の集計は行っていない。

【自己評価・今後の課題】

- ◇ 施設の老朽化が進んでいるため、安全な環境でスポーツを行うことができるよう、修繕、工事等ができた。しかし、どの施設においても、突発的な修繕が必要になる場合があるので、常に施設の状況を把握し、計画的に修繕、工事等を行い、施設の長寿命

化を図るよう努める必要がある。また予算に限りがある中で、優先順位に基づいた修繕ができていないか、今一度精査が必要である。

阿久比スポーツ村については、今年度、スポーツ医・科学研究所を購入し、来春から体育室が利用できるように整備を進める。今後も財政状況が厳しい中で施設の維持に努めていく必要があるため、助成金等の活用しながら、利用促進を積極的に図っていきたい。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、注意喚起を促す掲示物を貼る、施設に消毒液を設置するなど、引き続き感染症対策を取りながら、施設を利用していただけるよう措置を講じていく必要がある。



野球場トイレ新設工事



トレッドミル購入

Ⅲ 学識経験者の意見

教育委員会事務評価委員会報告書

令和2年度 教育委員会事務評価委員会報告書

阿久比町教育委員会

教育長 田 中 清 高 殿

阿久比町教育委員会事務評価委員会は、令和2年度の阿久比町教育委員会事務について、令和3年7月2日、7月16日、8月6日と3回の委員会を開催し、点検・評価を行った。以下に、評価結果を報告する。

令和3年8月10日

阿久比町教育委員会事務評価委員会

委員長 田 中 悦 夫 (元小学校長)

竹 内 淳 (元小学校長)

吉 住 まり子 (元あぐい女性の会会長)

評価結果

| | |
|--|-----------------------------|
| <p>施策名</p> | <p>1 幼保小中一貫教育の推進</p> |
| <p>○大変苦勞しながら第5期4年目を乗り切ったことは評価できる。教育の大きな柱となっていることは町民の誇りであり、「子育てしたい町」として挙げられる理由一つとなっているのではないか。</p> <p>○今日的課題となっている「英語教育・プログラミング学習・ICT教育」などへの対応や、GIGAスクール構想に関する研究を進めてはどうか。</p> <p>○コロナ禍のために中止となった活動の中で、工夫すれば実施できたものはなかったか。「先輩の話を聞く会」などはビデオやオンラインを活用するなどして継続してもらいたい。</p> <p>○これまでの1～4期は研究成果の発表を目的として3年間の区切りで活動されていた。5期のみ5年目を迎えることになる。研究推進と活動の維持の両面から、今後のプロジェクトの在り方を見直す時期なのではないか。コロナ収束後の新施策に期待している。</p> | |
| <p>施策名</p> | <p>2 学校施設及び設備の整備・改修等の推進</p> |
| <p>○他市町に先駆け、空調設備の設置に尽力されていることは評価できる。今後はさらに、特別教室への導入や災害発生時には住民の避難所となることも考慮して、体育館の空調設備の設置も必要となるのではないか。</p> <p>○トイレ改修工事やGIGAスクール構想に関連する整備工事も計画的に進められていて評価できる。今後、障害をもった児童生徒の急増も見込まれるため「多目的トイレ」の設置も必要となってくるのではないか。</p> <p>○校舎・施設の老朽化に対応するには全てが高額な経費のかかることだけに簡単にはいかないが、長期的な観点から効率の良い整備改修工事の計画を立てていただきたい。</p> <p>○児童生徒の命にかかわるような危険個所の修理点検は何をさておいても真っ先に取り組んでいただきたい。</p> | |

| | |
|--|---|
| <p>施策名</p> | <p>3 特別支援教育の充実</p> |
| <p>○特別支援教育指導員を活用し、教職員や保護者の不安解消に効果を上げて いることは評価できる。今後は勤務形態を町の常勤とすることで、町内小 中学校の支援学級の指導巡回や担当教員の研修、さらには保護者の相談対 応に取り組むことなど、より有効活用できるのではないかと。 ○特別支援学級に在籍する児童生徒の増加に対し、学校支援員の増員を果た していることは大いに評価できる。 ○「特別支援学級」が支援を必要とする児童生徒の保護者が信頼のおける場 所となるよう、学級担任及び学校支援員の研修に努めていただきたい。 ○「インクルーシブ教育」が浸透して、通常学級の中にも障害をもつ児童生 徒が増えてきている。学級担任だけで、そうした子どもたちと対峙しなが ら授業を進めていくことは困難な時代となっている。今後も支援員の増員 を継続していただきたい。</p> | |
| <p>施策名</p> | <p>4 安心安全な学校給食センター運営</p> |
| <p>○大変厳しい状況の中、新学校給食センター「AGUMOGU」の完成、供用 開始に至ったことは大いに評価したい。 ○「食物アレルギー対応除去食」の提供については保護者との相互理解は勿 論のこと、学級担任とも綿密な関係をとって、慎重に対応していただきた い。しかし、センターや学校に過度な負担となるようなことは避けるべき と考える。 ○今後は、児童生徒・町民から愛される給食センターを目指して、「郷土 食・全国地域伝統食・歳時會・地産地消」などを盛り込んだ「楽しい給 食・献立」づくりにも取り組んでいただきたい。</p> | |
| <p>施策名</p> | <p>5 家庭教育推進事業（書初め大会）・成人式式典事業の 実施</p> |
| <p>○いろいろな行事が中止となる中、両行事とも万全の対応を考えて実施にこ ぎつけられたことは大いに評価できる。大変困難な状況下で実施に至るま では深い配慮と厳しい決断があったことと推察される。関係者の方々に 敬意を表したい。 ○「成人式」は知多管内唯一、1中学校だけの町だけに、2部制にせず一堂 に会して行えることが望ましいと考える。感染状況、ワクチンの接種状況 等も判断材料として、実施時期・会場・参加者を「新成人の集い実行委員 会」のメンバーの意見も取り入れて、皆が満足できる内容となるよう開催 していただきたい。</p> | |

| | |
|--|-----------------------------------|
| <p>施策名</p> | <p>6 文化・芸術活動育成の支援</p> |
| <p>○公民館の使用が大幅に制限される中、感染予防対策をしっかりと講じたうえで教室や講座を開催されたことは大いに評価できる。</p> <p>○一時的な活動で終わることなく、文化協会加入団体、サークル協議会団体数の増加に向けての働きかけを熱心にされていることも素晴らしい。</p> <p>○文化協会、サークル協議会ともに、趣味・特技を生かして楽しむだけでなく、コミュニティ活動としても意義のあることなので、より充実した活動として発展されることを期待する。</p> | |
| <p>施策名</p> | <p>7 魅力ある図書館づくりの推進</p> |
| <p>○3か月余の閉館期間があったものの、入館者数、貸出人数が前年比の70%近くを保っているのは「しおり作成・読書カード配布」事業の継続や「アグピー文庫」「ティーンズコーナー」の設置など、利用者に対する工夫が凝らされ、親しみある図書館づくりをされている成果だと評価できる。</p> <p>○利用者が多い理由の一つに、図書館職員の来館者に対する明るく親切な対応があると感じている。今後も町民にとって、愛される図書館づくりに向けて邁進していただきたい。</p> <p>○小中学校の学校図書館図書整理員との意見交流会が年度末ではなく、11月に開催され、関係の必要性がさらに理解できたことは評価できる。今後も同時期に開催されたい。</p> | |
| <p>施策名</p> | <p>8 スポーツ施設及び設備の整備等の推進</p> |
| <p>○スポーツ施設等の利用状況が前年比で、ほぼ60～80パーセントに減少しているのはコロナ禍でもあり仕方がない。そんな状況下、「ふれあいの森」では、パターゴルフの利用者数を筆頭に、デイキャンプ以外は前年度を上回る利用者数となっている。「屋外で感染リスクが低いのでは」という意識が利用者にあることも理由の一つだろう。今後も油断せず、感染予防対策を怠らないようにしたい。</p> <p>○スポーツ村のトレーニング室の利用状況が15パーセントにも満たないことの原因は、利用制限・規則が厳しいことにあるのではないか。クラスターの発生を防ぐために致し方ないことではあるが、換気・消毒等の工夫をして、せめて更衣室（ロッカー使用はなし）を使えるようにしていただきたい。</p> <p>○コロナ収束後の住民の健康維持のためにも、安全安心に親しめる施設・設備となるよう管理・点検・整備を一層推進していただきたい。</p> | |